

# みさき

47号

美咲町議会だより

2017年2月10日発行



## 主な内容

**こんなことが決まりました** ②～③

**15議員が町政を問う** ⑧～⑲

**美咲町議会4年間の軌跡** ⑳～㉓

大きく育て美咲の子ども 君の笑顔で未来がひらく

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

# 積極誘致で地域を活性化

一般会計補正予算など34件の議案が議決されました。

## 美咲中央小学校の教室増築

美咲中央小学校の教室が不足となったため現在の校舎に教室2室を増築。  
〔小学校管理費2,784万円〕



## サテライトオフィスを誘致

企業などの事務所を打穴上地内の空き家に誘致するための施設改修補助金。  
〔企画管理費750万円〕



## 地域の老朽ため池を改修

柵原地域の榎本池など老朽化した危険ため池の補強工事を行い安全を確保。  
〔地域ため池整備事業費1,050万円〕



## 新しい定住促進団地に着手

若者などの定住を促進するため新しい住宅団地整備に向けた作業に着手。  
〔用地取得造成事業費523万円〕



<p>★美咲中央小学校校舎改修事業費 2,784万円</p> <p>★町民センター維持補修費 3,487万円</p> <p>★地域ため池整備負担金 1,050万円</p> <p>★道路新設改良費 △6,015万円</p> <p>◎特別会計補正予算 〔国民健康保険事業〕 ★交付金 △1億2,869万円</p> <p>〔柵原公共下水道事業〕 ★下水道敷設事業費 △7,700万円</p>	<p>★サテライトオフィス誘致事業補助金 750万円</p> <p>☆町債 5,220万円</p> <p>☆町税 1,650万円</p> <p>☆国・県支出金 1,230万円</p> <p>〔主な歳入〕</p>	<p>◎一般会計補正予算 歳入歳出の総額に 8,077万円を増額 する。</p>	<h3>補正予算</h3>
--	---	--	---------------

## 意見の分かれた議案

○は賛成 ×は反対		岡田議員	山本議員	下山議員	松島議員	三船議員	江原議員	金谷議員	岩野議員	松田議員	形井議員	延原議員	片山議員	左居議員	小林議員	林田議員
議案第139号	用地取得造成事業特別会計補正予算第2号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
要望8号	町営丸山グラウンドの表層整備(改良)についての要望	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
陳情4号	美作岡山道路の建設促進を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議員発議第6号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議員発議第7号	地域高規格道路「美作岡山道路」早期着手に向けた取り組み強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

### 議員発議

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

国民の政治に対する関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となる中、地方議会における人材確保の観点から地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現すること。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

地域高規格道路「美作岡山道路」早期着手に向けた取り組み強化を求める意見書

高規格道路「美作岡山道路」の建設に際してはルート選定を巡って長期間停滞しているが、このほど地元合意が得られたことから早期の事業着手に向けた取り組みの強化を図ること。

この内容を強く求める意見書を岡山県に対して送付した。

### 条例

農業委員・推進委員の定数を定める

農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

農業委員会の委員選考委員会設置条例

法改正により農業委員会委員の選考方法を改める。

### 協定締結

津山市と定住自立圏協定を締結

津山圏域定住自立圏の形成に関する協定書

津山市と連携して実施する取り組みの基本的な方針および役割分担を定める協定を締結する。

### 陳情

美作岡山道路の建設促進を求める陳情

美咲町飯岡上自治会 会長 秋山 申一  
ほか3自治会長

美咲町全体で取り組まなければならない重要課題であり賛成多数で採択とした。

### 要望

津山圏域消防組合 柵原出張所庁舎移転に関する要望

美咲町藤原自治会 会長 藤原 信行

地域における協働体制に期待し、全会一致で趣旨採択とした。

町営丸山グラウンドの表層整備(改良)についての要望

美咲町藤原自治会 会長 藤原 信行  
ほか8自治会長

現状における借地などの問題点解決を優先させる必要があり、賛成少数で不採択とした。

商工業振興事業補助金の予算措置についての要望

久米郡商工会 会長 脇 利幸

商工会にあつては将来の状況を的確に見据えた運営を図られるよう意見を付し全会一致で採択とした。

# 委員会 の活動

## 総務常任委員会からの報告

総務常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／形井 圓 委員／延原正憲、江原耕司、三船勝之、貝阿彌幸善の6人で審議しています。

### 【税務課】

#### 軽自動車税1,070万円増加

問 軽自動車税対象の車両台数も増加したのか。

答 軽自動車税増額に伴う歳入の増加であり、対象車両総数は11,694台で27年度より189台減少している。

### 【まちづくり課】

#### 津山圏域定住自立圏形成の協定

問 圏域の範囲と協定項目は。

答 津山市を中心市として周辺5町が定住自立圏域全体の活性化のため各政策分野36項目について個別に協定するもので、このうち美咲町は共通する35項目で連携する。



打穴上地内

#### ※サテライトオフィス予定地を視察した

岡山市在住者が美咲町において6次産業商品開発や特産品の掘り起こし、地域振興のイベント企画などを行う事業所を開設する予定。

※「サテライトオフィス」…空き家などを利用し、中山間地域外から町内に事業所を開設する資金の一部を補助（県2/3、町1/3）する制度

### 【情報交通課】

#### 黄福タクシーに追加予算600万円

問 黄福タクシーの利用状況はどうか。

答 好評で利用も順調に伸びており、28年度総額約3,500万円を見込む。不足分600万円の追加が必要となる。

### 【情報交通課】

#### 愛カード所持者227人が申請

問 免許証の自主返納によりタクシー券補助を申請した人は何人か。

答 愛カード所持者のうち6,000円分のタクシー券補助を申請した人は11月末で227人。

## 民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、健康福祉課、こども課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／松島 啓 副委員長／金谷高子 委員／林田 実、小林達夫、左居喜次の5人で審議しています。

### 【住民課】 不法投棄の状況は

問 不法投棄の今の状況は。地域別に年間を通してまとめているか。

答 通報があったものが本年度は中央地域7件、旭2件、柵原4件。

### 【教育総務課】 美咲中央小の教室増設

問 美咲中央小学校の教室を2室増設するが、設計委託料はどうなっているのか。

答 29年4月に間に合わせるため、予備費で対応している。

### 【福祉事務所】 生活保護の申請が増加

問 生活困窮者自立支援法の成果と効果は。

答 生活保護の申請は増えている。10月末で92世帯118人である。ケースワーカーなどが就労支援をしている。



### 香花温泉ほほえみの湯の現地を視察した

今回は、電磁弁の取り換えの補正予算であったが、露天風呂の屋根など修繕箇所が多くあることを確認した。

### 【生涯学習課】 地域イベントの備品購入は

問 各地域でイベントが多く行われたが、以前から要望があるテント、机、いすなど備品を購入する予定は。

答 29年度で予算化していきたい。

### 【健康福祉課】 総合福祉計画のアンケート

問 総合福祉計画のアンケート調査の概要は。

答 健康づくり、食育、地域づくりを中心とし、2千人を抽出して行う。項目は前回より絞っている。

# 委員会 の活動

## 産業・建設常任委員会からの報告

産業・建設常任委員会は、上下水道課：産業建設観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／下山和由 副委員長／岩野正則 委員／片山 剛、松田英二、岡田 壽の5人で審議しています。

### 【産業建設観光課】 鳥獣被害防止対策費の減額

問 農作物鳥獣被害防止対策への補助金が3,000万円減額されているのはなぜか。

答 要望額に対して国の補助金が付きにくい状況で、昨年6,000万円、今年3,000万円の減額となった。

### 【産業建設観光課】 新しいぶどう集出荷施設

問 JAつやまが建設する新しいぶどう集出荷施設はいつ完成するのか。

答 施設の完成は29年2月末を予定しており、新年度から稼働させる。

### 【産業建設観光課】 農業委員会委員の選出方法

問 農業委員会委員の選出は従来の選挙方式からどのように変わるのか。

答 29年度からは、委員選考委員会を開催して農業委員18人、農地利用最適化推進委員28人を決定する。



打穴中地内

### 完成した打穴中配水池の施設を視察した

事業名：中央簡易水道再編推進事業

事業年度：25年度～28年度

事業規模：型式 ステンレスパネル配水池

容量 1,000m<sup>3</sup>×2基

総事業費：4億2,916万円

### 【産業建設観光課】 建設工事などの議決案件

問 建設工事契約締結などの議決を要する案件は契約する前の段階で提案する必要がある。

答 十分な審議を必要とするものについては慎重に対応していく。

### 【上下水道課】 下水道事業費の減額

問 柵原公共下水道事業の予算が7,700万円減額されている理由は何か。

答 汚水関係の国庫補助が減額されたことと雨水関係の事業を来年度に延期したことによる措置。

### 【上下水道課】 上水道の公営企業会計化

問 当初は29年度から上水道の公営企業会計移行と聞いていたがどうなるのか。

答 簡易水道再編事業が31年度まで延長された関係で公営企業会計への移行は32年4月からを予定している。

# 町政を問う

一般質問は町民を代表し、町長・教育長などに  
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
8	下山 和由	1. 各種委員への感謝状の贈呈はできないか 2. 新年度予算での農林業の振興策は ◇ 高齢者対策など補助金は
9	林田 実	1. 課統合の成果・効果は
	三船 勝之	1. 町長の3期目に向けた政策は
10	左居 喜次	1. 給食費無料化の考えはないか 2. 「美咲八景」を指定し町内外へ発信してはどうか
11	小林 達夫	1. 雇用の場の確保はできないか 2. 地域資源を生かせ

ページ	議員名	質問内容
12	江原 耕司	1. シンボリック施設の進捗状況は 2. 小・中一貫校の計画は ◇ 財政出動を行うべきではないか ◇ 分譲住宅地の確保は ◇ 1ターンの受け入れは
13	岩野 正則	1. 美咲芸術世界目標は達成したか 2. 徴収の専門部署が必要ではないか ◇ 公共施設の耐震化の状況は ◇ 広報みさきへコマーシャルを入れることはできないか ◇ 借地の解消は
14	延原 正憲	1. 美作岡山道路の推進策は 2. 期日前投票所の期間短縮は再検討を ◇ 平成29年度予算編成方針は
15	金谷 高子	1. 災害から地域をどう守るか 2. 給食の食品ロス削減への対応は
16	松島 啓	1. 町のシンボリック施設とは何か 2. 人づくりの積極的な取り組みを

ページ	議員名	質問内容
17	片山 剛	1. 庁舎玄関に点字ブロックの設置を 2. 町道両脇の支障木処理を早急に
18	山本 宏治	1. クリーンセンター開設に伴うごみの分別状況は 2. 命の笛の普及はできないのか
19	形井 圓	1. 予算化された事業は早期着工すべきでは 2. 対象者全員に支給するのが制度の趣旨だ ◇ 平成29年度の主要施策方針および事業内容は
20	岡田 壽	1. 地域に残る若者に支援策を 2. 生活困窮者へ各課の連携対応を ◇ 名称の統一を願う ◇ 公共施設などの総合管理計画の策定は
21	松田 英二	1. 小規模災害への救済と予防の方策が必要

議会だよりには、  
2問まで掲載しています。  
掲載できなかった質問は  
◇で表示しています。

質問

# 各種委員への感謝状の贈呈はできないか

町政を問う  
一般質問

下山和由 議員



答弁 担当課と協議していきたい



日頃の活動に感謝します

**問** 町が委嘱している各種委員で長年にわたる貢献に対して、退任時に感謝状の授与をもって労苦に報いることはできないか。

特に、愛育・栄養の両委員の選出に苦勞している。

また、受けても家庭や仕事を休んで任務についている状況である。近隣市町村では任期、年数を決めて感謝状を贈呈しているが本町の対応はどうか。

**答** 木谷総務課長

長年各種委員をされ、公共のために尽力したことに對し、感

謝状を贈呈して労苦に報いることは、大切なことと考えている。

町条例施行規則では、各表彰を12年としているが、表彰事務取扱要綱の中で対象者に町長名義、あるいは委員会会長名で感謝状の贈呈を担当課と協議していきたい。

**問** 5年とか10年の期間で、表彰とか感謝状の検討はできないか。

**答** 定本町長

12年という例もあるが、少し緩和させていただければと思っています。

## 新年度予算での農林業の振興策は

質問

答弁 補助金を有効に活用する

**問**

農林業の振興策は①耕作地再生利用緊急対策事業の補助金は。

②林道整備・間伐などへの補助金は現状のままか。

③鳥獣害被害対策への助成金または補助金の増額はないか。

**答** 矢木産業建設観光課長

①未定であるが、29年度以降は、岡山県予算を経由する荒廃農地等利活用促進交付金事業へ移行する予定。

②林道整備について、町単独事業による森林作業道開設事業で、来年度も同額程度の予算



農作物を守るために

要求を行っていく。

③単町での補助金は現状維持と考えているが、国・県の補助金については、年間予算の都合により補助金額が減額になることがある。

**問** 有害鳥獣駆除に對する助成金について、国・県・町の納付される時期がまちまちだと聞かすが、一括しての支払いができないか。

**答** 矢木産業建設観光課長

国、県の補助金については、最終的な頭数が確定してから、ほぼ年度末の支払いになる。

## 町政を問う

一般質問

林田 実 議員



## 課統合の成果・効果は

質問

### 仕事量と職員の配置数を 検証したい

答弁



効率的な業務を期待

**問** 産業課・建設課の統合により、課長不在の機会が増えた。決裁などの遅滞が予想されるが、現在までの経緯と経過は。

**答** 矢木産業建設観光課長 職員数は同じであり従来どおり支障ない。仕事量が増え職員数の不足は感じている。

**問** 町民サービスのためには職員がスムーズに働ける環境づくりが重要であると考えている。

それには統合後の成果および効果の検証が重要ではないのか。

**答** 岡部副町長 より効率的な業務を進めることができると期待して統合した。各班の課長代理が力を発揮しておりサービス低下になっていないと信じている。

**問** 産業課の統合で、「ピオーネの特産化」が後退しているのではないのか。

**答** 定本町長 ピオーネの販売は今年も盛況であった。決して後退していない。前進している。

## 町政を問う

一般質問

三船勝之 議員



## 町長の3期目に向けた政策は

質問

### 財政健全化を第一に シンボリックな建物を

答弁



健康はコロボン体操から

**問** 町長は「地域づくり」「人づくり」「健康づくり」をスローガンに、町発展に努めてきた。しかし、昨年の国勢調査では5年間で1,210人、率にして7.7%も人口が減少しており、厳しい状況である。また、一方で「地方創生」にも乗り遅れた感がある。

そこで町長に問う。

① 国勢調査の結果を受けた感想はどうか。

② 「地方創生」に対する認識はどうか。

③ 3つのスローガンで8年間、どのような施策を実施し、その効果はあったか。

④ 3期目に向けた政策があるか。

**答** 定本町長 ① 人口減少は情けないという1点である。転出を防ぎ、魅力のある美咲町を考える。

② 「地方創生」に、確かに乗り遅れた。

③ 「人づくり」について、まず職員からスキルアップしていく。

「地域づくり」は、自主防災組織が100%できた。

「健康づくり」は、コロボン体操と人間ドックがかなり普及した。

④ 財政健全化を第一に、シンボリックな施設が必要と思っている。

質問

# 給食費無料化の考えはないか

町政を問う  
一般質問

左居喜次 議員



答弁

## 財政状況も厳しく無料化は考えていない

今後の対策として、年度途中での給食単価の改定は難しいため、今年度に限っては、学年末に児童・生徒1人につき数百円程度を追加で負担していただく

石戸教育総務課長 食材高騰への対処方法は、野菜を価格の安い冷凍野菜に切り替えたり、牛肉を豚肉や鶏肉に変えたりと、栄養価を変えずに給食を提供するため、献立づくりに苦労している。

さらに、子育て環境の充実、定住促進を考慮して、義務教育過程での給食費を自治体で負担する考えはないか。

問

今年の野菜高騰は学校給食にどのような影響を与えたのか。また、今後の対策は。

次に、学校給食に要する経費のうち、設置者美咲町の負担部分と、保護者が負担している経費区分とそれぞれの金額は幾らになるのか。

答

柴原教育長 学校給食に関する経費は別表の通り。

給食費の自治体負担については、本町は財政状況も厳しく、学校給食の無料化は考えていない。

平成27年度学校給食に係る費用 (単位:千円)

	児童生徒数(人)	保護者・教職員等 負担金		町負担金			
		児童生徒給食費	教職員等徴収金	計	人件費	光熱水備品保存食費修繕費等	計
小学校	728	33,911	5,193	39,104	40,193	17,455	57,648
中学校	356	18,300	4,195	22,495	22,063	9,586	31,649
合計	1,084	52,211	9,388	61,599	62,256	27,041	89,297

質問

# 「美咲八景」を指定し町内外へ発信してはどうか

答弁

## 大々的に売り出すことを考えていきたい

まず美咲町のいいところを公募し、選定することが必要と考える。周辺整備も当然必要なことだ。今後どうするかは、関係各課とも十分協議し、

答

矢木産業建設観光課長

公募、審査により「美咲八景」を指定し、町内外への発信と周辺整備などを行ってはどうか。

問

本町には、豊かな自然、多くの有形・無形の文化財、大坪和西、小山を代表する棚田、三休公園、柵原ふれあい鉢山公園などの観光名所があるが、まだ知られていない景色のよい所がたくさんある。

答

美咲町の景観財産を全国に発信し、大々的に町を売り出すことを考えていきたい。

問

まずは職員の方々が美咲町を気に入れば、町民に対しての接し方、業務に向かう姿勢が違ってくるのではないかと。

答

岡部副町長

町のいろいろな良さに気づく感性をしっかりと持ち、職員から美咲の良さを誇りに思う、そういう気持ちを持ってるように頑張っていきたい。



時により姿を変える美咲の風景

# 町政を問う

一般質問

小林達夫 議員

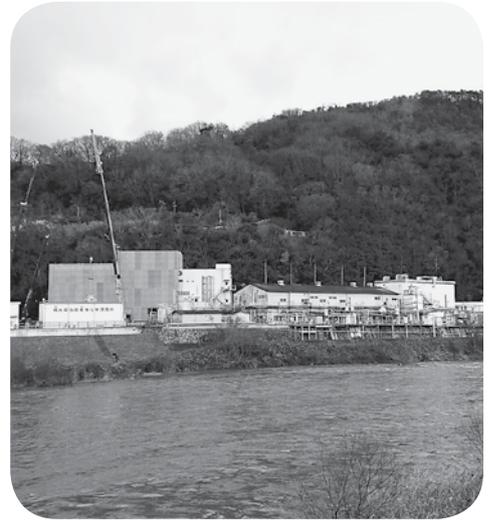


# 雇用の場の確保は できないか

質問

## 地理的条件と交通手段が 重要な要素

答弁



もっと拡がれ働く場

**問**

人口減少が進む中、若者が定住できる町、若者が帰ってくる町にしたいが、働くところがなく人口流出が進む一方である。雇用の場をつくる取り組みはできないのか。

**答**

定本町長 雇用の場には地理的条件と交通手段が必要であり施策として重要な要素である。

**問**

美作岡山道路の完成が町全体に波及してくると一番期待している。「地方創生」に向け独自政策を打ち出せ。雇用の場づくりに企業へ訪問しているか。

**答**

煙尾まちづくり課長 現在、貸しているものとの整合性を検証し、使いやすい形の制度設計が必要である。

**問**

煙尾まちづくり課長 少子化対策の入口である結婚推進でコイデイナーターやボランティアの体制整備も踏まえ継続的に取り組む。

**答**

定本町長 東京へ行ったとき、必ずあいさつに行く会社がある。関連企業の誘致を話すが、なかなか実らない。

**問**

空き家、空き地を無料で貸し出して会社の誘致はできないか。

**答**

煙尾まちづくり課長 現在、貸しているものとの整合性を検証し、使いやすい形の制度設計が必要である。

質問

# 地域資源を生かせ

答弁

## 生かすためには体制づくりが課題

**問**

荒地が増えていく。棚田の対策は。また、棚田サミットを誘致しては。

**答**

矢木産業建設観光課長 棚田の維持と営農活動持続のために活動支援を今後も行っていく。また、サミット誘致は宿泊所が少なく民

**問**

生かしてサミットを誘致、卵を使った美咲きびだんごを作るなど、さまざまな方法で本町をPRしてはどうか。

**答**

鈴鹿生涯学習課長 桃太郎サミットには美咲桃太郎の会と参加をして情報発信をしながら交流を図っている。

**問**

今後、顔出し記念撮り影用パネルの制作などで他課と連携してPRを考えたい。

**答**

定本町長 日本最古をPRする以上は、それなりの説得力を持ったものが必要ではないか。

**問**

日本最古の桃太郎伝説発祥の地を

**答**

他の農地の課題もあり、なかなかできないのが現状である。

**問**

日本農業遺産制度に久米南町と手を挙げてはどうか。

**答**

定本町長 他農地の課題もあり、なかなかできないのが現状である。



# 質問 シンボルの施設の進捗状況は

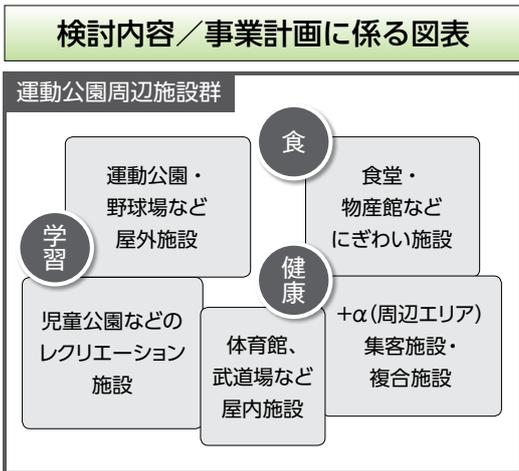
町政を問う

一般質問

江原耕司 議員



## 答弁 あらゆる方面で検討している



**問** 決算で公債比率も順調であり、基金残高も年々増加しているため、合併の象徴となるような思い切った政策を決断できないか。

官民連携によるシンボルの施設の進捗状況を示せ。

29年4月には同日選挙もあり町長の意気込みを問う。

**答** 畑尾まちづくり課長

公共施設等総合管理計画の内容を29年になれば皆さんにお知らせできる。運動公園周辺を対象に現在官民連携事業の調査を行っている。

これは教育・健康など将来町民皆様から高い要望のある施設を建設する場合、施設の管理負担を少なくするなど本町の課題解決に資する民間事業者参入の可能性を調査するものである。

**答** 定本町長

官民連携によるシンボルの施設の具体化には2〜3年かかる。官が建物を造り、民間で管理・運営を行うような形を想定し、現在プロジェクトチームにおいて官民連携の可能性について調査、審議している。

官が建物を造り、民間で管理・運営を行うような形を想定し、現在プロジェクトチームにおいて官民連携の可能性について調査、審議している。

# 質問 小・中一貫校の計画は

## 答弁 保護者や住民の意見を丁寧に聴いて取り組む

**問**

小・中一貫校の現在の進行状況は風評ばかりが先行して具体的な政策として見えてこない。

町の考え方と今後の方向性および現状について説明を求める。

**答**

柴原教育長

5月下旬に立ち上げた柵原地域学校建設検討委員会を5回開催した。昭和53年開校の柵原中学校の老朽化に伴い、年々多額の修繕費が必要な状況を踏まえ、今後早い時期に校舎を改築する必要があると共通認識のもとに議論を重ねてきた。



検討委員会の結論は

昭和57年開校の柵原西小学校、共同調理場も老朽化に伴う修繕箇所が増えてきており、柵原東小学校も10年後、同様の状態が予想される。また、7月末には150人参加の合同懇談会を開いた。

より良い教育環境を提供できる新しい学校が必要との認識を共有した。費用面も国の1/2補助が出るメリットもあり、小・中一貫の義務教育学校制度を活用したい。

委員会での議論の方向性を踏まえ保護者や地域住民の意見を丁寧に聴いて取り組んでいきたい。

町政を問う

一般質問

岩野正則 議員



美咲芸術世界  
目標は達成したか

質問

当初の目的は達成できた 答弁

**問** 28年10月に開催された「美咲芸術世界」の目的は達成できたのか。

**答** 鈴木生涯学習課長 この美咲芸術世界では、国内外のアーティスト10人が美咲町に滞在して、公開制作の場としたアーティスト・イン・レジデンスの実施、アコースティックトリオの生演奏のプレオープンディングイベント、外国人を含むアーティストとの交流、作品展示などが旧大井



アートの世界でまちおこし

また、これからの取り組みをどうするのか。

和小学校をメインに、町内20会場で行われた。多くの人に絵画・造形作品を見ていただき、地域文化の振興とアートを通じた地域づくり、美咲町のPRなど、ほぼ目的が達成されたと思う。

この事業は、岡山県のおかやま連携会議委託の事業であり、今後は実行委員会で反省や検証をしていく。

**問** 町税などの滞納状況と取り組みについて

**答** 山下上下水道課長 滞納者には給水停止などの対応をしている。

**問** ①現在の滞納額を示せ。

**答** 稲谷こども課長 保育料の滞納1件分は8万円で29年8月に完済される。

**問** ②徴収の専門部署または、係の設置が必要でないか。

**答** 遠藤税務課長 徴収については

**問** 県の市町村税整理組合、滞納整理推進機構に委託したりして回収の努力をしている。

**答** 岡部副町長 自主財源の確保

**答** 牧野住民課長 取り組みとしては、本人、遺族、相続人、連帯保証人の調査、訪問をしている。

**答** 桑元健康福祉課長 督促の努力はしているが、県の市町村税整理組合にも徴収依頼をしている。

答弁

収納率向上のため専門部署を設置する

質問

徴収の専門部署が必要ではないか

	一般会計	特別会計	合計
過 年 (H27以前)	9,407万円	1億8,039万円	2億7,446万円
現 年 (H28)	2,205万円	1,790万円	3,995万円
合 計	1億1,612万円	1億9,829万円	3億1,441万円

# 質問 美作岡山道路の推進策は

町政を問う

一般質問

延原正憲 議員



答弁

## 地元と地域振興策を一緒に考える



早期開通が待たれる柵原インターチェンジ

問

3年を超え混乱したルート問題もやつと地元合意が得られた。

早期実施に向けての町の推進策を示せ。

答

國宗柵原総合支所 産業建設課長

飯岡地区4自治会長から道路建設促進の陳情書も提出されている。

道路を利用した地域の発展を考えるために地域住民の意見を聴く場としてワークショップなどを検討しており、

地域振興策と一緒に考えていきたい。

答

定本町長

美作岡山道路計画の推進は飯岡地区・

柵原地域・美咲町の発展のためどうしても必要な事業である。私も主体となって取り組みたい。

問

道路計画に起因して滝谷池の改修計画や内水対策事業も遅延している。

一日も早い全面改修や早期着工が地区住民の悲願だ。

答

國宗柵原総合支所 産業建設課長

地域振興・滝谷池防災事業・内水対策事業は美作岡山道路の用地確定が早期着工につながる。

県・町が協力して早期完成を目指していく。

質問

## 期日前投票所の期間短縮は再検討を

答弁

## 議論を踏まえ委員会として検討する

問

先の県知事選挙において、町内に3カ所設置された期日前投票所のうち旭・柵原の投票所を期間短縮した理由は何か。

答

延原選挙管理委員会委員長

県知事選挙は選挙期間が長期であることから①有権者の利便性②これまでの投票状況③投票所の管理運営状況④経費⑤周辺市町村の対応状況など総合的に判断した。

また、投票所の期間短縮については、通常の選挙以上に周知を行い啓発に取り組んだ。

問

7月に行われた参議院選挙でも同様の結果であったため、投票率の低下には別の課題があると考えられる。

答

選挙管理委員会

は有権者が投票しやすい環境、機会を確保するのが責務である。住民感情にも配慮し、投票率向上のため期間短縮は再検討すべきではないか。

答

延原選挙管理委員会委員長

投票率が上がらない現状を踏まえ、細かい配慮が必要と感じた。今回の議論も踏まえ委員会で検討する。



投票率向上への配慮を

## 町政を問う

一般質問

金谷高子 議員



# 災害から地域をどう守るか 質問

## 自主防災組織の支援を行う 答弁

**問** 近年、自然災害が全国で多発しているが、住民の安全をどう守っていくのか。

**答** ①自主防災組織の現状は

②自治体の役割は。また、タイムラインとは。

③地域コミュニティが果たす役割は。

④防災士の受講者の人数は。

**答** 木谷総務課長

①自主防災組織は100%できているが、組織的防災活動ができていないところがある。

地域に出かけて活動支援に取り組んでいく。

②自主的防災活動の活動支援、行動計画の修正また情報伝達、避難所の開設などに対応していく。

タイムラインとは、時系列に整理して、防災のための行動計画を立てること。

③自治会単位での自助、共助の精神を理解していただくとともに、災害を最小限に抑えることが地域コミュニティの果たす役割の大きなところだ。

④防災士養成講座が28年11月20日、真庭市で行われ中央2人、柵原4人が受講した。



子どもたちで作った安全マップ  
(周佐地区・19年8月作成)

**問** 国内ではまだ食べられるのに捨てられている食品(食品ロス)が年間632万トン廃棄されている。全国民が毎日ご飯を茶碗1杯捨てることになる。

**答** ①本町の食品ロス削減の取り組みは。

②学校給食の食べ残し状況は。

**答** 桑元健康福祉課長

①各地域のサロンでの調理実習などでは食育についての取り組みはしているが、食品ロス削減についてはできていない。

**答** 石戸教育総務課長

②小中学校で1日に出る生ごみ(ご飯)は12kg、牛乳

## 答弁

### 食育で指導していく

## 質問

### 給食の食品ロス削減への対応は



成長期に給食は大切!!  
「牛乳はしっかり飲みましょう」

が少ないうえに、多いときは80本が廃棄される。

校長会や栄養士と相談していききたい。

**問** 食べ残しは、小学校は少ないが中学校で多くなっている。食の指導をしているが効果がでない。

**答** 柴原教育長

食べ残しを減らすよう折に触れてアピールしていく。

教育委員会としても、今以上の食育指導を通して学校を支援していきたい。

今後どのように取り組むのか。

# 質問 町のシンボルの施設とは何か

町政を問う

一般質問

松島 啓 議員



## 答弁 官民連携の複合施設を 考えている



先進地の状況を視察

**問** 中央運動公園周辺の活用策調査を28年の6月議会で承認したが、その後の状況は。

また、町のシンボルの施設とは何か。

**答** 畑尾まちづくり課長

みさき創生総合戦略の基本目標の中に多世代交流・生活や福祉の拠点づくりという施策がある。

それを展開し中央運動公園のあり方について、周辺の公共施設の再編成と併せて既存・新設施設の一体的整備を図る。

検討をした結果、国の支援事業で公民連携

研究財団に委託して関係団体、有識者11人でプロジェクトチームを設置した。

そこで中央運動公園の施設が一体として民間参入・委託ができるか、先進地視察も行って議論している。

29年2月中に成果を取りまとめたい。

**答** 定本町長

中央運動公園前の国道53号は、1日平均約1万8千台の交通量がある。施設にどういった魅力があり、民間業者が関心を持つか調査している。

現在は、官民連携の複合施設を考えている。

# 質問 人づくりの積極的な 取り組みを

## 答弁 さらに拡充した 取り組みを進めたい



手づくりのウェディングパーティー  
(江与味)

**問** まちづくりの基  
本理念である人づ  
くりにおいて、各種事業  
を行っているが今後、新  
たに考えていることは。

また、職員研修に、  
民間への派遣、消防署  
への初任者研修など考  
えてはどうか。

**答** 木谷総務課長

町職員の研修は、  
多種多様化する事業な  
どに対して積極的に行  
っている。

津山市、勝央町が行  
っている消防署への研  
修は、検討したい。

**答** 桑元健康福祉課長

通いの場を推進  
している。その中でも  
人づくりの視点が重要

であり、自助・共助の  
意識が芽生えるよう取  
り組みたい。

**答** 稲谷こども課長

幼児期からの英  
語教育を行い、国際化  
に対応できる人づくり  
を拡充したい。

**答** 畑尾まちづくり課長

地域おこし協力  
隊2人の活躍を期待し  
ている。

**答** 柴原教育長

英語教育につい  
ては学習指導要領が改  
訂され、32年度から小  
学校5・6年生は教科  
で、3・4年生が活動  
で取り組むことになる。  
前向きに対応してい  
きたい。



# 庁舎玄関に 点字ブロックの設置を

質問

専門家の意見を聞き検討する **答弁**

**問** 視覚に障がいのある人の誘導のためには、点字ブロックは大

**答** 木谷総務課長

また、旭総合支所は  
玄関周りの改修をした  
が、点字ブロックの設  
置はなかった。  
庁舎玄関への点字ブ  
ロック設置をどのよう  
に考えるのか。

**問** 点字ブロックは  
岡山県が全国で最  
初に手掛けたと聞いて  
いるが、本庁の玄関に  
は設置されていない。  
柵原総合支所は玄関  
先のスロープを上がつ  
た場所に5m設置して  
あるが延長できないか。



障がい者にやさしい町へ

**答** 森廣柵原総合支所長

切なものと考えている。  
また、点字ブロッ  
クを設置することで、他  
の障がいのある人の通  
行に支障がないよう専  
門家の意見を聞き検討  
したい。

**答** 難波旭総合支所長

んの安全を第一に検討  
していく。

西側のスロープの屋根  
を延長し車寄せのカー  
ポートの設置と、それ  
に伴いインターホンを  
設け来庁者の対応を行  
っている。

質問

# 町道両脇の支障木処理を早急に

答弁

早急に検討を進めていく必要がある

問

町道両脇が、雑  
木・かずらなどで  
トンネル状態になつて  
おり、みさぎネットの  
光ファイバーケーブル  
に害虫が入り断線した  
事例もある。

また、これからの季  
節は雪で竹などが倒れ  
通行できなくなる場合  
もある。  
早期に解消できない  
か。

**答** 矢木産業建設観光  
課長

町道両脇が民地の場  
合、所有者の承諾なし  
で勝手に切ることはで  
きない。  
所有者が切るのが基  
本であり、まずは地域  
で対応をお願いしたい。  
地域で対応ができな

い場合は、要望書によ  
り町で対応していく。  
今年度から2班体制  
で道路の維持作業を行  
っており、大きな木は  
森林組合にお願いして  
いる。

答

光嶋情報交通課長  
26年度の秋より  
光ファイバーケーブル

相当な延長があるの  
で財政部門・建設部門  
と調整を行い、早急に  
検討を進めていく必要  
がある。



たくさんあります美咲のトンネル

質問

# クリーンセンター開設に伴う ごみの分別状況は

町政を問う  
一般質問

山本宏治 議員



## 答弁 苦情もなく3Rも順調である



もっと減らそう可燃ごみ

**問** 28年4月から本格稼働しているが、収集場所・収集量など町民への対応は順調か。

**答** 牧野住民課長  
また、分別状況など資源化に向けた取り組みへの問題はなにか。

**答** 牧野住民課長  
収集日・回数について

の苦情はないが、稼働当初はごみの収集ができていない収集場所もあり早急な対応をした。

町民の皆さんの分別協力により可燃ごみの搬入量が減少、資源ごみの搬入量は増加しており**3R**（ごみの発生抑制・再使用・再生利

用）も順調である。  
**問** ごみステーションへの補助制度の利用状況および新クリーンセンターへの児童生徒の視察などの計画は。

**答** 牧野住民課長  
整備費については、27年10月から収集場所の統廃合を目的とした補助金が新設され、改修整備の補助金とともに町内全域で利用があり収集施設の整備も進んでいる。

**答** 柴原教育長  
小学4年生で社会科見学としてすべての学校でクリーンセンターの施設見学をしている。

## 質問 命の笛の普及はできないのか

## 答弁 自主防災組織での対応を



身を守る命の笛

**問**

命の笛とはストームホイッスルと呼ばれる、人が一番聞きやすい音になっており、家屋の倒壊または身に危険が及びそうな時などに利用ができる。子どもなどの防犯用具として利用は考えられないか。

**答** 木谷総務課長  
購入に当たって一部補助はできないか。

**答** 石戸教育総務課長  
自主防災組織の非難道具のセットの中に含めて購入しているところもある。地域での避難訓練などの補助金で購入することが可能かと思われる。

**答**

子ども

**問**

策にも有効であると思われる。本町では防犯交通安全全対策として小学1年生に贈呈している中に防犯笛もある。

**答** 桑元健康福祉課長  
今後は高齢者の認知症問題も考えていかなければならない。

**答** 定本町長  
担当課としては見守りネットワークなどに取り組んでいる。提案の命の笛は何らかの時に非常に有効な方法と感じられる。

**答**

補助金については各自治会の自主防災組織の備品購入で対応をお願いしたい。

## 町政を問う

一般質問

形井 圓 議員



# 予算化された事業は 早期着工すべきでは

質問

年度内に発注する予定

答弁



予算化されているのに未着工

**問**

28年度事業で、特に藤原地区の下水道雨水対策事業が着工できていないと聞きますが、町長、副町長は、地元調整に出向いているのか。

「中央かめつち。ゴルフ場」のトイレ建設、加美橋から加美小学校通学路新設工事などは28年3月議会で承認されているにも関わらず、なぜいまだに着工できていないのか。

また、他にも未着工の事業はないか。

**答**

岡部副町長 藤原地区の雨水対策について、難航しているというはいる

**答**

「中央かめつち。ゴルフ場」のトイレ建設は、設計委託に期間を要し、工事の入札が遅れている。

**答**

矢木産業建設観光課長 加美橋から加美小学校通学路は、今年度は測量設計と用地測量、工事は来年度から着工する。また、工事着手できていない路線が13路線あるが、用地取得に日数を要したことなどの理由があり、年度内に発注する予定だ。

質問

## 対象者全員に支給するのが 制度の趣旨だ

答弁

### 未申請者には再度通知を行う

**問**

28年度は高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金、美咲町高齢者黄福給付金が支給される。

しかし、臨時福祉給付金の27年度は支給割合が83%と大変低い。入院中や施設入所の人、通知書が理解できない人もいるのではないか。

**答**

福田福祉事務所長 対象者には、申請書を送付している。また、広報誌、行政放送でお知らせをし、申請書は簡単に申請できる。

**答**

定本町長 高齢者黄福給付金の未申請者には再度、通知を行うことにしている。

対象者全員に支給するのが制度の趣旨であり、未申請の人にも支給されるように努めるのが職員の責務ではないか。

100%支給に向けてどのように取り組んでいるのか。

また、他の新規給付金は28年3月14日付け



全ての対象者に給付金の支給を

## 質問 地域に残る若者に支援策を

町政を問う

一般質問

岡田 壽 議員



## 答弁 いかに魅力ある地域づくりをするかだ



美咲町版一極集中（完売した分譲地）

**問** 町内でも中心部に人口、若者が集中する傾向があり、東京一極集中の美咲町版だ。

山間地から若者、人がいなくなると町はどうなるのか。

地元に残り地域活動、高齢者支援の核になる若者へ支援が必要では。

**答** 畑尾まちづくり課長

中心部への分譲地施策は、同じ町内であり「美咲町に定住」する意味でメリットはある。

担当課としてそれぞれの地域の20年、30年後の姿を地区民と一緒に考えていきたい。

**答** 岡部副町長  
自助・共助が難しくなるが、公助も役場も人が減って難しくなる。

定住促進プロジェクトの中でも、まず県内に、次に作州、そして美咲町に定住するように目線を広く考えていた。

地元でなくとも町内で便利な暮らし方を考えてもいいのでは。

**答** 定本町長

人生を快適に過ごしたいが若者に残れ残れでは済まない。

いかに魅力ある地域づくりをするかだ。議員からも若者が残る施策を提案してほしい。

## 質問 生活困窮者へ各課の連携対応を

## 答弁 関係各課と取り組む

**問** 格差社会といわれ格差拡大が進んでいる。低所得者支援も行政の務め。

滞納者の生活状況を把握し、生活困窮者の相談窓口の福祉事務所と税務課が連携対応すべきではないか。

**答** 遠藤税務課長

税務には守秘義務があり、それに抵触しない形で福祉事務所と連絡はできる。

**答** 牧野住民課長

福祉事務所と情報交換・共有が必要で適切な支援活動に務めている。

**答** 桑元健康福祉課長  
今後、困窮対策



相談窓口はこちら（福祉事務所）

が基本かと思う。社会保障の原点に戻り取り組みたい。

**答** 稲谷こども課長

こども課は虐待や暴力など福祉事務所と連携が必要とされる。常に緊密に連携していく。

**答** 福田福祉事務所長

福祉事務所では生活困窮者の自立相談事業を行っている。自立支援法で困りごと、相談ごとの支援、

経済的自立への支援、地域での支え合い、生活保護制度の活用など幅広く対応できるので相談してほしい。

# 町政を問う

一般質問

松田英二 議員



# 小規模災害への救済と 予防の方策が必要

質問

## 制度の見直しを協議して検討する

答弁

**問** 本町のような典型的な中山間地域では、大雨や長雨が続いた場合、土砂崩れなどの災害が発生するリスクは極めて高い確率で存在する。災害復旧事業では救済できない宅地への小規模な災害が町内で頻りに発生している状況は確認できているのか。

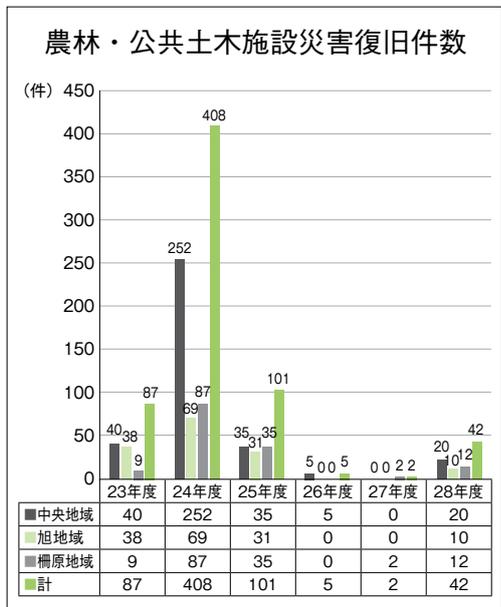
**答** 國宗柵原総合支所産業建設課長

農地や公共土木施設の災害は災害復旧事業で対応しているが、住宅地の裏山が崩れたものなどは条件が厳しいため対応できていない。過去の状況は、記憶し

**問** 本町には住民の安心と安全を確保するための制度として「宅地災害土砂取り除き事業」や「生活道路整備事業」などの制度が設けられているが、これらの制度を拡充することで宅地の災害を救済・予防する制度は考えられないか。

**答** 矢木産業建設観光課長

住民の暮らしを守るためにはあらゆる対応策を考えていく必要がある。制度の見直しについて十分に協議、検討していききたい。



## 町村議会議員が一堂に会す

### あらゆる災害から 命を守る準備と行動

11月14日、岡山県内12町村の議会議員が参加した研修会が開催されました。

防災アドバイザーとして活躍する防災システム研究所の山村武彦所長を講師に迎え「地方自治体における防災・危機管理」と題した講演の中で貴重な意見を伺いました。



## 人権教育の積極的な推進

### 視覚障害の人への 理解を深める活動

11月15日、美咲町人権教育推進協議会が行う研修会が開催されました。

島根あさひ訓練センターで実践されている盲導犬訓練の様子を視察することで、視覚障害に対する理解を深め、学んだことを人権推進活動につなげていきます。



# 4年間の軌跡

美咲町  
議会だより  
32号～46号

定住対策特別委員会を設置

議会への町民アンケートを実施

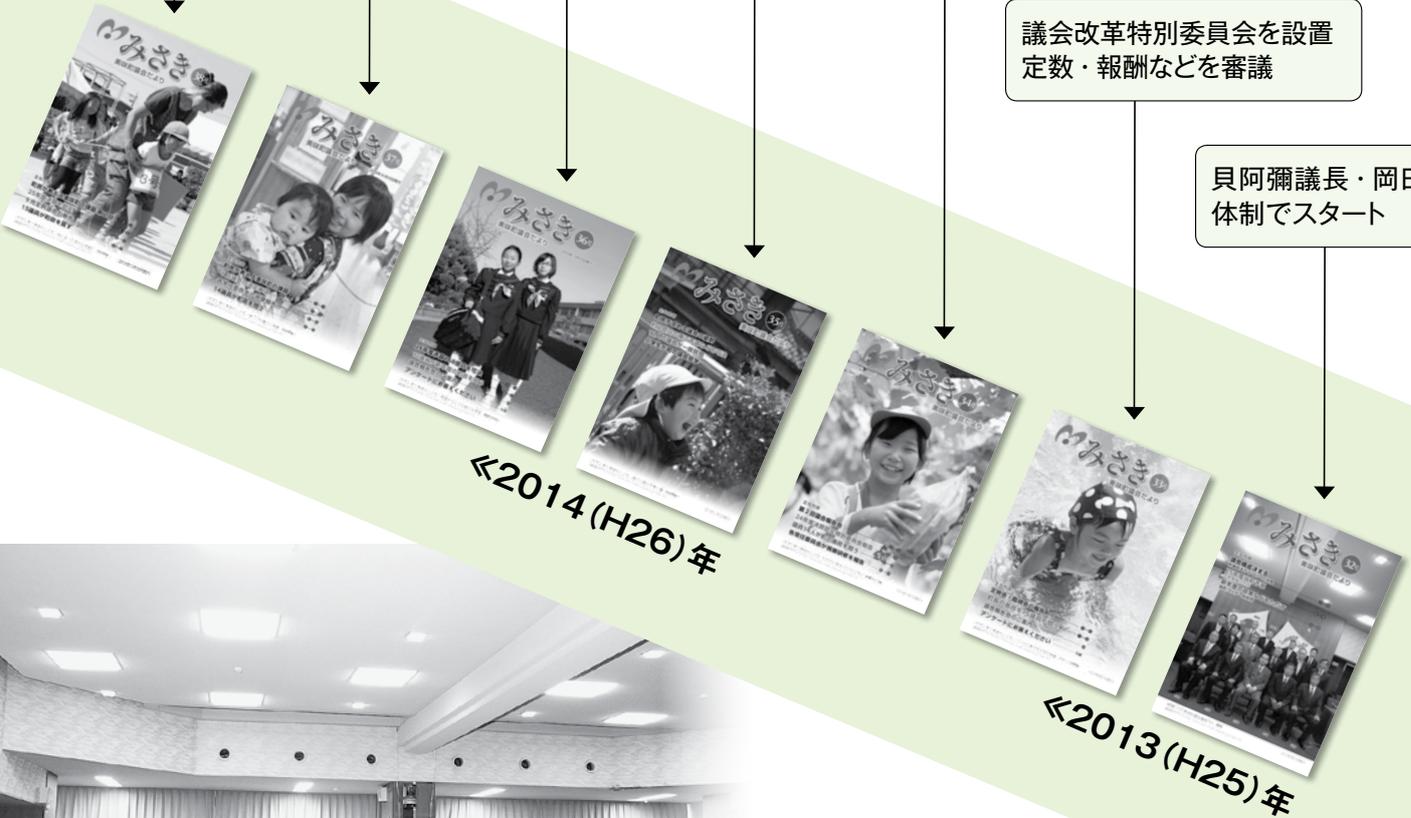
第3回議会報告会を開催

全国議会広報コンクールで  
奨励賞を受賞

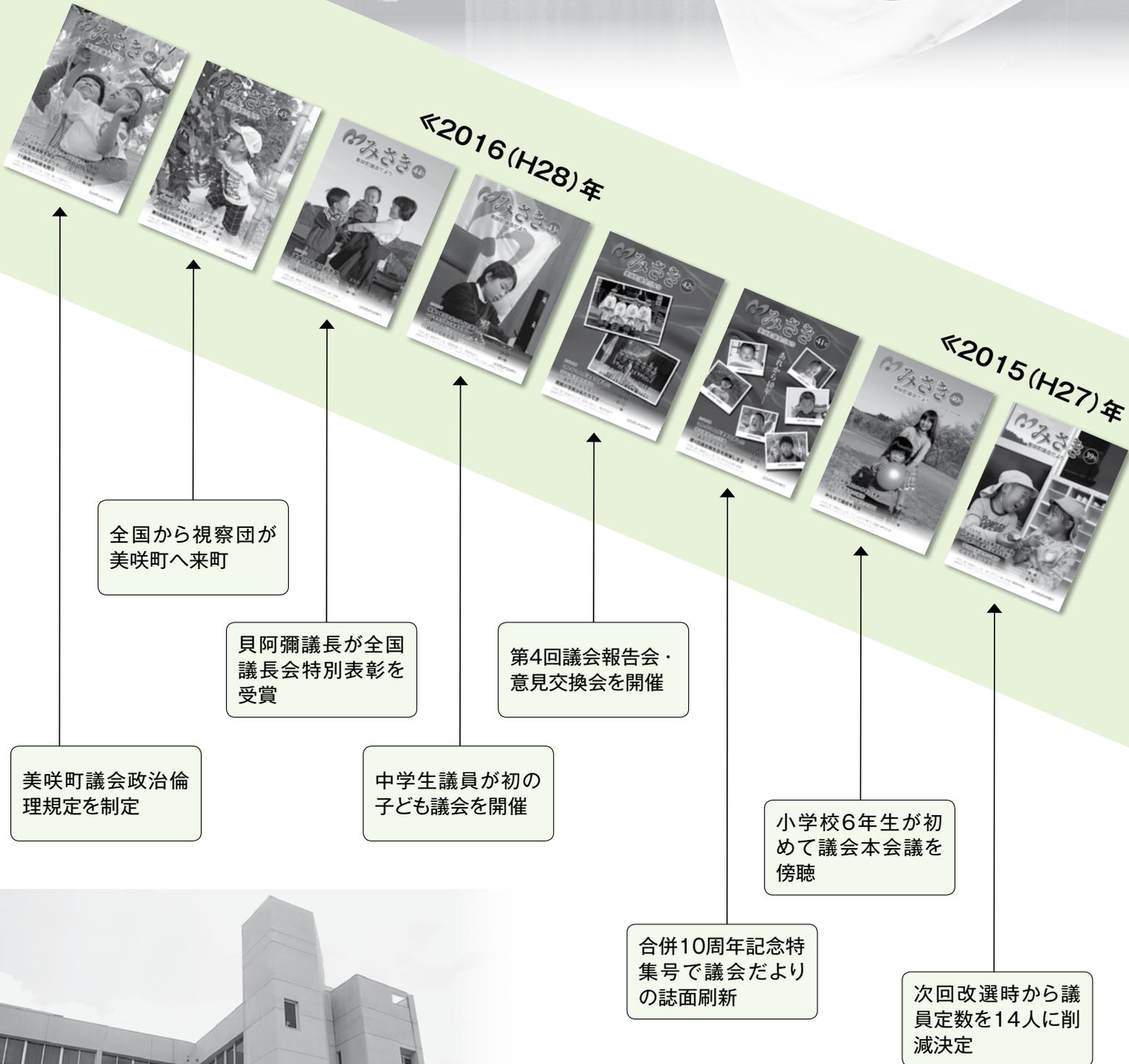
第2回議会報告会を開催

議会改革特別委員会を設置  
定数・報酬などを審議

貝阿彌議長・岡田副議長  
体制でスタート



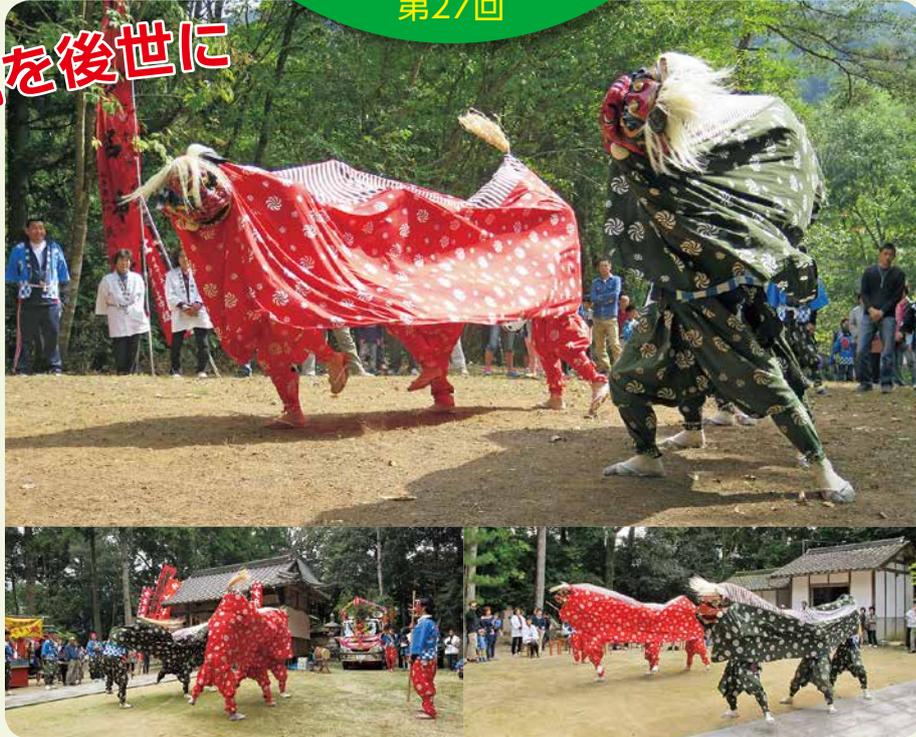
# 美咲町議会



# 町民の皆さんこんにちは

## サークル紹介 第27回

伝統を後世に



●いつ頃から活動していますか●  
昭和45年から活動しています。

●どんな活動をしていますか●  
10月の秋の例大祭のときに、宵まつりから本まつりにかけてだんじりを運行し、神社で奉納獅子舞を行います。  
以前は、小学校や保育園へ出向いて獅子舞を行っていましたが、最近では新築や出産などのお祝い事があるところで行っています。

●メンバー構成は●  
旧旭町の氏子有志による集まりです。現在は、30代から70代までの14人です。

●活動を始めたきっかけは●  
私たちが子どものころは獅子舞が行われていましたが、仕事で地元(旧旭町)へ帰ってきたときにはなくなっていました。  
氏子で旧久米町油木北の人と復活しようという話になり、有志が集まり活動を始めました。

# 少彦名神社旭奉賛会

●楽しいことは何ですか●  
みんなでだんじりをつくり、宵まつりから本まつりにかけて子どもたちと氏子の家をまわり、お祝い獅子舞を行い、一緒にごちそうをいただいて、楽しんでいることです。

●これからの活動は●  
これまでのようにお祝い事やイベントに参加して少彦名神社の獅子舞を披露し、子どもたちに伝統を伝えていきたいです。

●議会に一言お願いします●  
各地域の伝統行事を続けている団体の紹介をしていただけたらと思います。

地域の文化継承に  
期待しています。

編集 まだまだ寒  
さ厳しい日が続  
いていますが、  
日差しには力強さが増  
し春の息吹が感じられ  
ます。

私たち議会はこの4  
月改選期から2人減の  
14人、二つの常任委員  
会で再出発します。

議会広報編集特別委  
員会は6人体制のまま  
ですが、常任委員会  
に向けて広報の役割強  
化を検討しています。

私たちは、町民の皆  
様が議会を身近に感じ  
ていただけるよう、手  
取り読んでもらえる広  
報誌づくりに取り組ん  
でまいりました。

今回の47号のご感想  
をいただければ幸甚で  
す。

(延原記)

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 金谷 高子
- 副委員長 左居 喜次
- 片山 剛
- 延原 正憲
- 松田 英二
- 江原 耕司